

湯浅広川消防組合からのお願いです!

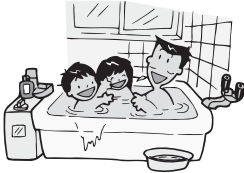
☎64-0119/FAX 63-6626/e-mail fd119@juno.ocn.ne.jp

冬季の入浴にご注意を!

入浴は、その日の身体の調子や気温などによって、重大な事故につながる危険性があります。

入浴中の事故死は冬季に多く、12月から2月にかけて全体の5割が発生しています。統計によると、家庭の浴槽での死者数は、この10年間で1.7倍に増加しており、交通事故による死亡者数を大きく上回る数値が報告されています。そのうち高齢者（65歳以上）が9割を占めています。

当署管内（湯浅町・広川町）では、昨年中における入浴中の救急搬送事案は16件発生しています。寒さもいよいよ厳しくなってきましたので、十分ご注意ください。



入浴時の注意

1 入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
（温度の変化で血圧が大きく変動し意識消失することがあります。）

2 湯温は41度以下、湯につかる時間は10分までを目安にしましょう。
（心臓への負担が少ない半身浴でも、長時間入浴するのは危険です。）

3 浴室から急に立ち上がりないうちにしましょう。
（脳への血流が急に低下し貧血状態になり、意識消失することがあります。）

4 アルコールが抜けるまで、また、食後すぐの入浴は控えましょう。
（高齢者では、食後に血圧が下がります。食後低血圧により失神することがあります。）

5 入浴する前に家族に声を掛けて、様子を見に来てもらいましょう。
（入浴時の死亡事故を防ぐには早期発見が大切です。）

深夜や早朝の入浴は、気温が低く家族が気付きにくい可能性があるため、なるべく控えましょう。

感震ブレーカー

～通電火災を防ぐために～

▶お問合せ先 総務課（16番窓口） ☎64-1108

阪神・淡路大震災、東日本大震災では、電気器具の転倒による火災や停電後の電気復旧時に火災が発生する**通電火災**が多発しました。震災時に電気が原因となる火災対策に有効であるとされるのが「**感震ブレーカー**」です。

感震ブレーカーは、強い揺れを感知すると自動的に電気の供給を遮断します。各家庭に設置することで出火を防止し、他の住宅等への延焼を防ぐので、被害を大きく軽減することができます。

感震ブレーカーには数種類あり、住宅分電盤の種類に適した製品を選ぶことができます。

感震ブレーカーを設置して、通電火災から「家」「地域」を守りましょう。

